

つきたい力

日常的に集団で意見交流や協働学習を行うことで多様性を認めることができ、さらに他者の考えを基に振り返り自らの考えに取り入れることで深い学びにつなげていく。

取組みの概要・ポイント

主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善について、学校全体で共通認識を持つための「豊中十六中スタンダード」をもとに、交流・共有・協働・発表のそれぞれの場面で効果的に1人1台タブレット端末を活用し、「主体的・対話的」に学ぶ授業や学びを深める環境の充実を図る。

具体的な取組みの内容 授業での交流・共有・協働・発表を通した深い学びの実践

【交流】

タブレット端末上で作成した作品等は、班活動やペアワークで画面を使いながら意見交流を行う。タブレット端末上では修正・変更が容易にでき、他者の意見を聞いて気づいたことや考えたこと等を、適宜反映させることができる。



【共有】

学習支援ソフトの共有機能を使い、各自で考えた内容や班でまとめた意見を教室設置の大型モニターに投影することで、全体で共有することができる。また、設定により生徒のタブレット端末上でも自由に閲覧できるようにすることで、生徒主体の取組みにつなげることができる。



【協働】

学習支援ソフトの協働機能を使い、班活動で意見をまとめたり、班で1つの作品を作成したりする。各自のタブレット端末を通して協働で1つのシートに書き込みをしたり、各自が作成したシートを結合したりして作成する。



【発表】

タブレット端末上で作成したものだけでなく、ワークシートなどで取り組んだものもタブレット端末で撮影し、大型モニターに投影したり、共有機能を使い各自の端末に映したりする。このように全体共有した状態で発表を行う。



～深い学びにつなげるために～

タブレット端末を活用した交流・共有・協働・発表を通して、自分と違う意見・考えに触れることで自分の考えとの比較ができる。また自分の意見・考えに対する周囲の反応を知ることで、自分の考えたことを振り返ることができる。そうしたことによる気づきを再度自分の考えに取り入れることで、より考えを深めることができる。また、それぞれの生徒の気づきをタブレット端末を活用して学級全体で共有し意見交流等することで、学級全体での深い学びにつなげることができる。

取組みを通しての子どもの変容

1人1台タブレット端末を活用することにより、従来に比べ他者の意見を広く知ることができるようになったので、生徒たちの学びへの興味関心が大きくなった。

また従来は発表場面で一部の生徒の意見しかとり上げることができなかったが、タブレット端末を通して全員の意見が容易に共有できる環境になり、様々な意見が存在しているという雰囲気がつくれ、各生徒が意見を安心してしっかりと表現するようになった。

豊中市教育センターHPに、取組みの詳細やアプリの使い方、ICTを活用した「学び」の基本方針を掲載しています。

